

取材のお願い

＜県政記者クラブ加盟社各位＞

令和8年10月27日

福島イノベーション企業合同メディア発表会の開催のお知らせ

福島イノベーション・コースト構想発、医療産業の最前線

～福島イノベーション企業3社による成果発表～

（公財）福島イノベーション・コースト構想推進機構は、「イノベーション実用化補助金」等を活用して事業に取り組む3社の成果発表会を11月4日（水）に開催いたします。

当日は、AI技術を活用した医療機器や血液がんの治療用抗体、日本初のメッセンジャーRNA医薬品に特化した開発製造事業といった、医療産業の最前線の取組みについて、地域との連携も含めて発表を行います。

各報道機関におかれましては、イノベーション地域から、地域社会のイノベーションにチャレンジする企業の取組をぜひご取材ください。

※プレゼンを行う企業の詳細は別紙のとおりです。

1. 日時 **令和8年11月4日（水）13:30～15:15**

2. 会場 **中町ビル 2階 大会議室**

（福島県福島市中町1番19号）

3. 参加者 株式会社 Mecara（事業拠点：田村市）

一般財団法人福島医大トランスレーショナルリサーチ機構（事業拠点：南相馬市）

ARCALIS 株式会社（事業拠点：南相馬市）

4. 次第 開会、挨拶 (13:30)

Mecara プレゼン (13:35)

福島医大 TR 機構 プレゼン (13:50)

〃（産学連携） プレゼン (14:05)

ARCALIS プレゼン (14:20)

交流会 (14:35)

5. 取材について

福島イノベーション機構（次項の申込先）に11月2日（月）12時までご連絡ください。

駐車場は、県庁外来駐車場をご利用ください。

取 材 申 込 書 (メール又は FAX でお願い致します)

【申込先】

福島イノベ機構 産業連携支援課あて (担当：田邊 文雄)

○メール：sangyo-renkei@fipo.or.jp

○FAX：024-581-6898

取材を申し込みます。

貴社名：			
担当者所属・氏名	連絡先 (電話番号、e-mail)	来場人数	TV カメラ 有・無

【お問い合わせ先】

○取材のお願いについて

〒960-8043

福島県福島市中町 1-19 中町ビル 6 階

福島イノベーション・コースト構想推進機構 産業集積部 部長 小林 正典

[TEL:024-581-6889](tel:024-581-6889)

株式会社Mecara

－最先端AI医療機器製品の量産体制構築（国内生産工場の新設）

企業コメント

実用化補助金テーマ

「ストレス及びメンタルチェック用AI 連携電子瞳孔計及び関連機器の開発 及び研究」

株式会社Mecaraは、独自のAI技術を用いた医療機器を量産する工場を福島県大熊町で新設します。現在、医療現場での導入が進んでいる、短時間で負担なく自律神経障害の検査が行える機器を、国内および世界へ送り出す拠点とします。この取組により、大熊町に新たな働く場を生み出し、子育て世代などの定住や地域の活気を後押しします。また、町民の健康を守る活動や子ども向けの学びの場づくりにも取り組み、医療と技術の力で被災地の持続可能な復興と持続的な地域社会の発展に貢献してまいります。

【ブース出展 製品デモ】



【システムレポート例】



一般財団法人 福島医大トランスレーショナルリサーチ機構

－浜通り地域での医療関連産業集積を推進する独自抗体医薬品開発

企業コメント

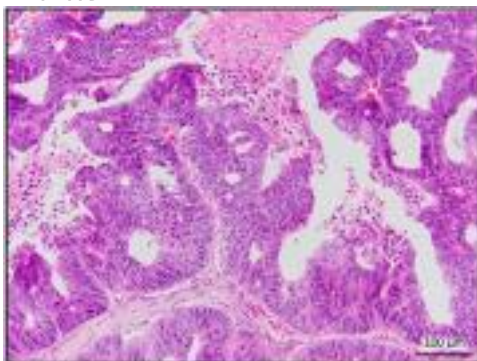
実用化補助金テーマ

「浜通り地域での医療関連産業集積を推進する独自 抗体医薬品開発」

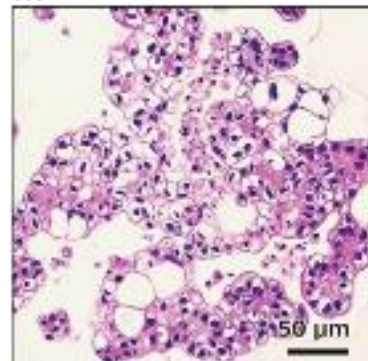
当財団は、第1・2期復興創生期間に実施された、経産省*福島事業の発展的後継団体として設立し、研究開発に加え、事業発ベンチャーを支援しています。福島事業では、独自がんモデルとしてF-PDX®／F-PDO®を多数整備するとともに、遺伝子発現解析を中心とした膨大ながん関連データ基盤や、タンパク質マイクロアレイ解析技術確立し、地域から新たな医薬品開発の可能性を切り拓く基盤を形成してきました。本事業では、この成果を基盤に造血器腫瘍（白血病など「血液のがん」）治療用抗体の創出とその企業導出を進めるとともに、南相馬市と協働し、若年層向け教育活動を進めつつ、地域企業との連携構築にも取り組んでいます。

*福島事業＝「福島医薬品関連産業支援拠点化事業」

写真① F-PDX®（患者腫瘍移植モデル）
HE染色画像



写真② F-PDO®（患者由来オルガノイド）
HE染色画像



F-PDX®／F-PDO®は、患者腫瘍の特徴を保持したまま評価できる独自モデル群で、実臨床に近い薬剤反応性を把握できる点が強みです。

株式会社ARCALIS

－南相馬発・日本初のメッセンジャーRNA医薬品受託開発製造事業

企業コメント

実用化補助金テーマ

「mRNAがんワクチンによる医療用医薬品開発 ～ 福島発グローバル医薬品の創成～」

当社は次世代医薬品であるメッセンジャーRNA医薬品に特化した開発製造受託事業を展開しています。2023年に原薬工場、2026年に製剤工場を南相馬市に竣工し、研究開発から商用製造までを一貫して提供できます。パンデミックなどの際にはワクチン製造に切り替える設計により、年間3,200万回分のワクチン製造能力を有し、平時の研究開発支援と有事の国産ワクチン供給の双方を担うインフラとして機能します。国内の医薬品供給体制の強化と日本の次世代医療産業の発展に加え、浜通り地域の産業振興や人材創出を通じた復興にも貢献しています。

【南相馬工場】



【南相馬工場-内部】



【特別発表】一般財団法人 福島医大トランスレーショナルリサーチ機構
－浜通り地域等創薬関連産業コミュニティの概要について

コメント

福島医大TR機構は、承認TLOとして培ってきた産学連携活動の実績や知見を活かし、「浜通り地域等創薬関連産業コミュニティ」の事務局として、地域における創薬関連産業の振興と集積促進に取り組みます。本コミュニティでは、創薬関連企業、大学等の研究機関、自治体など多様な関係者の交流・連携を促進し、技術や研究成果の活用、共同研究、新たな事業創出につながる機会を創出します。産学官のネットワーク形成を通じて、浜通り地域等の創薬関連産業の発展と地域経済の活性化を目指します。

【事業スキーム】



【事業イメージ】

